

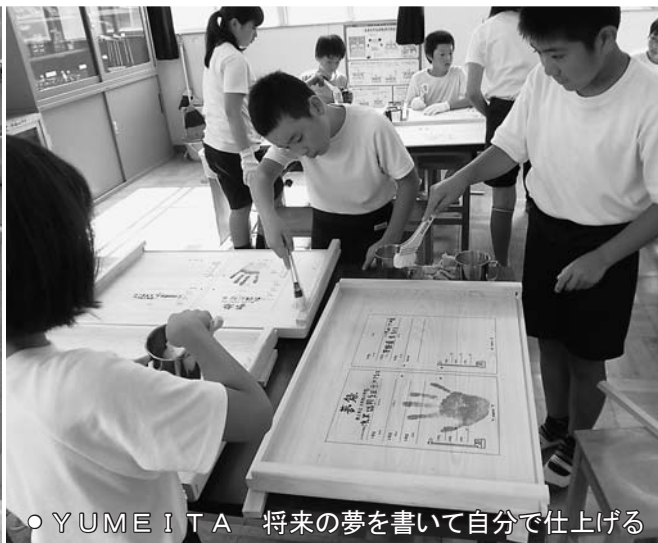


郡上の山と森と木を学び親しむ

もく いく 「木育」



●ぎふ木育ひろば 木に触れて遊ぶ



○YUME I T A 将来の夢を書いて自分で仕上げる



●森林学習 葉っぱを手に取ってよく見てみる

◆郡上市の木育

子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と山や森、木との関わりを考える心を育てていく取り組みを「木育」とよびます。

郡上市は面積の9割を森林が占めていますが、林業に携わる人は減りつつあり、以前と比べて私たちの暮らしと森林との接点も少なくなっています。

将来の郡上の山・地域・林業を支える人材を育てていくため、地域のみなさん、学校、市役所など関係者が協力して行った本年度の木育の取り組みをご紹介します。



学童机保護天板(YUME I T A)

◆森林の学習と学童机保護天板の制作

学童机保護天板の制作

市内モデル校4校(大和西小・明宝小・小川小・和良小)の児童が、森林には様々な働きがあることや、林業に携わる人々のおかげでその働きが守られていることを学び、地元の間伐材で作られた学童机保護天板(YUME I T A・夢板)を自分たちで仕上げる作業に取り組みしました。

夢板は、市内の林業、製材業、木工業、塗装業などに携わる人たちの手を経て届いていることも学び、自分と森林とのつながりについて考える機会にもなりました。

この「夢板」の裏面には、毎年の成長の記録と将来の夢を書き、卒業後は大切な宝物として保管できるよう、ファイル型に加工して児童に贈られます。

◆「ぎふ木育ひろば」の開設

いつでも、だれでも、木育を体験することができる拠点「ぎふ木育ひろば」を、はちまん児童館に開設しました。

これまで使われていたおもちゃは、主にプラスチック製でしたが、幼児期から木に親しんでもらうため、県内産の木材で作られた「おもまごとセット」と「ミニ平均台」を購入しました。

子どもたちとその保護者のみなさんが木に親しみ、木の良さを感じていただける拠点として、今後も市内に「ぎふ木育ひろば」の開設を進めていきます。



木のおままごとセット